

学校だより

玲瓏…玉のように光り輝く。鈴のように響き渡る。

れいろう

令和8年8月31日

第6号

富士市立吉原第三中学校

住所：富士市比奈 2126

電話：0545-34-0868

夏休み明け集会(8月25日)「校長先生の話」

今日から、みなさんの明るい笑顔と元気な声が学校に戻ってきました。久しぶりの登校でしたが、たくさんの方が笑顔で挨拶をしてくれて、とてもうれしく思いました。みなさんはどんな夏休みを過ごしたでしょうか。

この夏は、大きな災害が続きました。熊本地震や千葉での豪雨、さらに日曜日(23日)未明の地震で不安を感じた人もいたと思います。こうした出来事に接すると当たり前前の日常は決して当たり前ではないことを感じます。そして、自分や周りの人の命を大切にすることの大切さを改めて考えさせられます。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。9月1日には避難訓練と防災食体験があります。自分の命を守ることは、周りの人の命を守ることにもつながります。ぜひ自分ごととして真剣に考え、参加してください。

さて、夏休み前の集会で私は、「自分も周りの人も大切にすること」「好きなことや得意なことを伸ばすこと」「苦手なことに挑戦すること」について話しました。長い休みだからこそ、自分で考え、自分を高めるために行動してほしいと伝えました。実際に、この夏に何かに挑戦した人も多かったのではないのでしょうか。勉強やスポーツに打ち込んだ人、新しい体験に参加して視野を広げた人もいたと思います。

1年生にとっては、中学校生活で初めての夏休みでした。部活動では暑い中での練習に取り組み、大変なこともあったと思いますが、その経験は自信につながったはずです。また、自分で計画を立てて生活する中で、計画的に行動することの難しさや大切さを感じた人もいたでしょう。その力を、これからの学校生活にも生かしてほしいと思います。

2年生は、後期や学校の中心となる自分たちの役割を意識する夏だったのではないのでしょうか。部活動では3年生の後を引き継ぎ、頼もしく活動する姿が見られました。また、市のリーダー研修会に参加した人たちは、多くの刺激を受けたことや今後に生かしたいことを意欲的に報告してくれました。自習室で学習に励む姿も見られ、苦手なことに逃げずに取り組むたくましさを感じました。

3年生にとっては、中学校最後の夏休みでした。県大会等で最後まで全力を尽くした人たちの頑張りは、後輩たちのよい手本となりました。また、この夏は進路について考え、自分自身と向き合う時間も多かったと思います。三者面談での話を受けて、それぞれの目標に向かって努力できたでしょうか。夏の頑張りは必ず自信につながります。もし思うようにできなかったと感じている人がいても、これから変えることができます。3年生のよさは、「みんなで頑張ること」に価値感を感じていることです。進路実現に向けて、学年全体で支え合いながら取り組んでほしいと思います。

9月からは、みなさん一人ひとりが主役となる玲瓏祭の準備も本格的に始まります。また、11月6日には市内の多くの先生方がみなさんの授業の様子を見に来られます。学校生活の中で、みなさんのやさしさやたくましさがさらに発揮されることを楽しみにしています。

最後に伝えたいことがあります。みなさんの周りには、家族や先生など、支えてくれる大人がいます。困ったことや不安なことがあったときには、一人で抱え込まず、ぜひ相談してください。これからも、みなさんが安心して過ごせる学校をみんなでつくっていきましょう。

